

## I 調査概要

### 1. 調査の目的

全国の中規模病院における看護の質向上のための研修等の実態を量的・質的に把握し、看護職への教育研修体制の充実を通じた、中規模病院におけるさらなる看護の質向上および看護職員の確保を目的として以下に活用する。

○都道府県看護行政担当者等が、県下の中規模病院における看護の質向上に関する研修事業の立案推進等に向けて活用可能なデータとして提供する。

○課題や好事例を含めた結果を関係団体等に公表することで、看護部門（看護管理者、教育担当者等）のみならず、病院管理者および事務部門長も含めて、中規模病院の看護の質向上に関する研修等への理解促進につなげる。

○平成 28 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金「アウトリーチ（訪問）型看護管理能力支援モデルの検証」や平成 29 年度「地域包括ケアを支える看一看護連携を円滑にする教育研修体制の構築に関する研究」の基礎資料として活用する。

### 2. 調査内容

#### （1）自記式質問紙調査票の郵送配布・回収

##### 1）対象

地方厚生（支）局の施設基準等に係る届出受理医療機関名簿を基に作成した、全国の 300 床未満の中規模病院 6,913 施設のリストから、層化無作為抽出法を用いて病床規模の構成割合をもとに抽出した 1,000 施設の看護部長とした。

##### 2）方法

対象となる 1,000 施設の看護部長宛に、質問紙調査協力依頼状と質問紙調査票を郵送配布し、回答した調査票を返信用封筒にて郵送回収した。

##### 3）倫理的配慮

本調査の実施においては、公益社団法人日本看護協会の研究倫理審査委員会の承認を得た。

##### 4）調査項目

- 病院属性
- 入院患者の状況
- 看護部門の状況
- 教育研修体制
- 中規模病院の人材育成等に関する会議体
- 看護の質評価に関する取組み状況

## 5) 調査期間

平成 29 年 1 月 10 日～1 月 31 日

## 6) 回収状況

有効回収数 473 (有効回収率 47.4%※)

※1,000 施設へ発送したうち、宛先不明で返送された 2 件を除く 998 件を母数として算出。

## 7) 本書内の表記についての注意事項

- ・回収率 (各回答の百分比) は、小数点第 2 位を四捨五入したため、回収率の合計が 100 にならない場合がある。
- ・平均値は、「不明・無回答」を除いて算出している。
- ・本文、表、統計表等で用いた記号は主に以下の通りである。  
統計表中の「-」: 計数がない (回答者がいない) ことを示す。  
統計表中の「0」「0.0」: 計数はあるが、四捨五入により 0 である場合を示す。

## (2) 半構造化面接法ヒアリング

### 1) 対象

全国 6 地区 (北海道・東北／関東・甲信越／東海・北陸／近畿／中国・四国／九州・沖縄) から各 1 施設、以下 2 点の基準を満たす施設を検索し、調査対象の候補施設を抽出した。

- ① 5 年以内に、看護関連雑誌、関連学会・検討会、官庁および都道府県自治体の公表物等にて、看護職の人材育成に関する発表を行っている。
- ② 研修体制の充実を通じた看護職の確保や離職防止、教育の地域連携、施設規模に応じた教育体制の構築など、看護職の人材育成における実績および先駆的取組みを実施している。

### 2) 方法

日本看護協会の職員 2 名が、対象となる 6 施設へ個別に訪問し、プライバシーが保たれる個室にて、各施設 2～5 名を対象に聞き取りを実施した。

### 3) 倫理的配慮

本調査の実施においては、公益社団法人日本看護協会の研究倫理審査委員会の承認を得た。

**4) ヒアリング項目**

- 看護師のキャリア開発に沿った研修の実際
- 看護師のキャリア開発の基盤となる教育的要素の実際
- 教育支援体制の整備と教育内容の充実に必要な資源
- その他

**5) 調査期間**

平成 29 年 1 月 23 日～2 月 8 日